

# エリアウェーブ

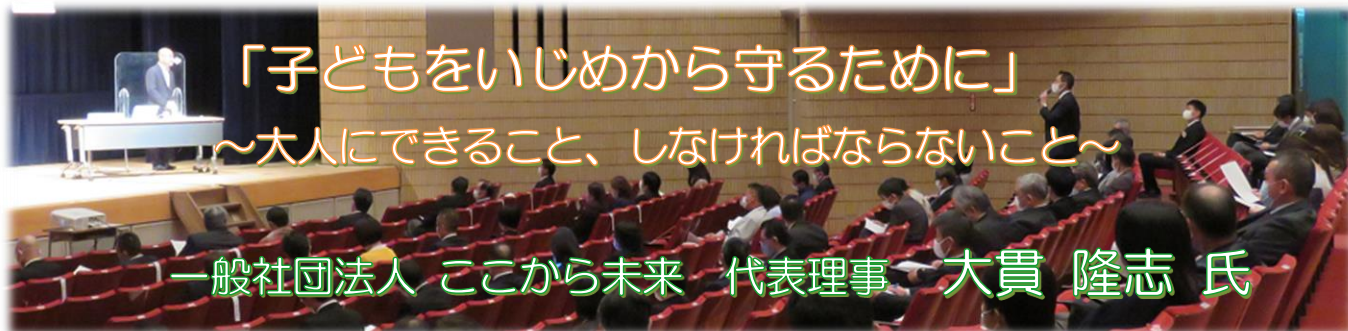


## 主な記事・紹介校・団体

- ・3市生涯学習課・塩山高・石和東小
- ・桃花台学園・一宮中・産技短・玉宮小
- ・一宮南小・松里小・井尻小・松里中
- ・神金小・大藤小・塩山北中
- ・ろう学校・春日居中・大和中



峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733



11月19日(木)、峡東地域教育推進連絡協議会(峡地連)による「人権のための講演会」が甲州市民文化会館において開催されました。163名の参加者はいじめが引き起こす様々な問題とその解決策への理解を深めることができました。以下に今回の講演会の一部抜粋を掲載します。

### ① いじめとは何か(どのような性質のものか)

国立教育政策研究所の追跡調査で、誰もがいじめの加害者にも被害者にもなり得ること、その両方を経験する子どもがほとんどであることが明らかとなった。

### ② いじめをどう防ぐか

いじめが起きにくい、許さない環境づくりや早期発見のためには、学校内に設置が義務づけられた「いじめ防止対策委員会」のメンバーである教職員が、全校集会の際に具体的な取り組みやいじめを受けた児童生徒を徹底して守り通し、事案を迅速かつ適切に解決する相談・通報の窓口であることを説明するなど、その存在及び活動を児童生徒・保護者に強く認識させる必要がある。

### ③ いじめられた子どもは何に苦しむのか

周囲の無知・無理解による孤立、いじめ被害者だけでなく、「傍観者」にも複雑性PTSDを起こしうる。

### ④ いじめ指導による被害の実態

教職員による「いじめられる側にも問題がある」という認識や発言は、いじめている児童生徒や、周りで見ていたり、はやし立てたりしている児童生徒を容認するものにほかならず、いじめられている児童生徒を一層孤立させ、いじめを深刻化する。

### ⑤ なぜ人は人をいじめてしまうのか

児童生徒の内面ではなく、外部要因の影響により問題行動が起きていると考え、その要因を見つけ出し、なくす、軽減する、短期的解決が困難であればカブつける。

### ⑥ いじめをつくりだすもの

理不尽な校則などにより増大したストレス発散の方法が限られ、非行や不登校、いじめといった逸脱行動が発生する。体罰や抑圧的な言動の多い教員の学級ではいじめが多く、授業がわかりやすく、納得できる叱り方のできる教員の学級ではいじめが少ない。いじめ撲滅のために学校で数値目標を設定すると、ストレス発散の場は目に見えないSNS上などへ移行する。

### ⑦ 大人にできること、しなくてはならないこととは

いじめ防止対策推進法に基づく取り組み、ストレスのかかる校則問題の軽減、意図的・計画的な生徒指導。いじめの原因は子どもたちの中ではなく、私たち大人の中に原因があると考え、私たち大人が幸せで居続けること、あるいは他の人が幸せであるために力を尽くしていくこと、そのために自分たちの生き方を常に見直していくこと、その姿勢を常に子どもたちに見せ続けること、私たち大人が振る舞いを変え、行動・言動を変えれば、子どもたちのいじめを減らす可能性が大きくなる。

コロナ禍にも関わらず、本年度の「人権のための講演会」にご参加いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。アンケート結果等を踏まえながら、来年度以降もより良い講演会を企画していきますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 自然素材を使ったクリスマスリース作り

笛吹市生涯学習課

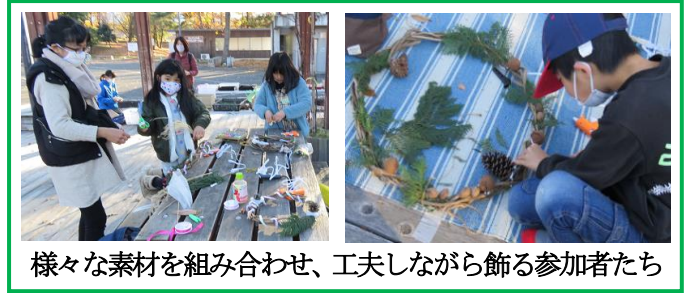
11月28日、笛吹市教育委員会は笛吹市青少年育成推進協議会が主催する「フッキー体験塾」を開催しました。今年度はコロナウイルス感染症の影響で開催できずいた



金川の森のスタッフから説明を受ける参加者たち

ため、参加を楽しみにしていた小学生たちの応募が定員の2倍以上に殺到し、急遽、午前と午後の2部構成とするなど大盛況のうち

に実施されました。会場となった金川の森では、参加者の親子が1時間ほど公園内に散策し、自分たちで見つけた木の実や枝葉など、思い思いの自然素材を使ってオリジナルのクリスマスリースを制作していました。参加者たちは青々しい秋晴れの森の中で美しい自然を満喫しながら、家族で過ごす楽しいクリスマスの夜に思いを馳せていました。



様々な素材を組み合わせ、工夫しながら飾る参加者たち



## 錯視にびっくり！スピードにどつきり！

山梨市生涯学習課

～ふしぎなコマとジェットコースターを作ろう～

山梨市教育委員会では12月5日、加納岩公民館において今年度コロナ禍で実施できずにいた子ども科学教室を開催しました。参加した児童たちは、講師で日川小学校校長でもある中村先生による説明や実演を通して学習しながら、山梨市子ども科学教室支援会の皆



3D 錯視を楽しむ児童

さんの指導を受けて簡易玩具を作製し、実際にそれらで遊ぶことで科学の原理を体感しました。今回は3D錯視が起きるカードや次に見た物が渦を巻いて見えるコマ、テープを貼っただけの塩ビ管パイプが地球を回る月の立体視になるコマを作製し、錯視が起るたびに驚きの声を上げていました。また、小さいながら強力な磁力で高速の鉄球を打ち出す原理を利用したネオジム磁石のジェットコースターを作製し、慣性や遠心力について工夫しながら楽しく学んでいました。今後は身の回りで起る様々な自然現象にも、いっそう科学的な興味を持つようになることでしょう。



マグネットコースターの軌道を微調整する児童



## 高校生と大人の本音の語り合い場

甲州市生涯学習課・社会教育委員の会  
塩山高等学校



出し合った意見を付箋に書き、貼りながらまとめていく委員の方々と生徒たち

全国的に社会教育委員は、地域のひとづくり、絆づくりを通し、地域をより良くするため様々な活動を行っています。甲州市社会教育委員の会では、平成29年度より地元の塩山高校の生徒と世代を超えた意見交換を行い、甲州市の未来を共に考える活動を行ってきました。4回目となる今年は12月14日に「新型コロナウイルスに強いまちづくり」をテーマとし、委員と生徒数名ずつが一つのグループとなって「高校生から高齢者までが協力してできること」を語り合いました。参加した生徒からは「同じ問題点に対しても大人と子どもでは解決への視点が違い、学ぶことが多かった」、委員からは「若い世代の考え方を知ることができ、まちづくりへの意識を高めてもらったのでは」といった感想が聞かれました。この語り合いの場こそ、



グループで話し合った対策を発表し合う生徒たち

やがて地域の未来を担う人材を直接育てる「地域教育」の取り組みだと感じました。

## ネット・ゲーム依存症を考える

## 山梨市障害児者フューチャー連絡会



実体験を赤裸々に語る講師  
の話を真剣に聴く参加者ら

山梨市障害児者フューチャー連絡会では毎年さまざまな社会問題に焦点をあて、会員のみならず多くの希望者や関係者を招いて学習会を開催しています。今年は11月14日に夢わーく山梨において、一般社団法人グレイスロード生活支援員の坂本さんを講師に迎え「ネット・ゲーム依存」について見識を深めました。特に今年は全世界的に子どもたちがコロナ禍の休校期間に家庭で過ごす時間が多くなり、ネット・ゲームに溺れる問題が急増しています。ゲーム障害はギャンブル依存と同じく治療が必要な病気です。坂本さんはかつて自身が膨大なゲーム課金で自制力がなくなり回復支援を受けた経験があり、当事者ならではの苦悩や立ち直りの方策は、大変勉強になりました。依存を未然に防ぐため、現代の子どもたちにもぜひ聴かせたい内容でした。

## ～子ども・若者育成のために～

## 青少年育成甲州市民会議



作文発表の児童と生徒

11月25日、甲州市民文化会館で上記集会が開催されました。はじめに行われた「家庭の日」「青少年を育む日」啓発作品の表彰式では市長賞を受賞した小中学生が作文を発表しました。2人の作文に共通していたのは、コロナ禍の休校中において、辛かった精神状態の時に感じた家族のありがたさと温かさへの感謝でした。会場では涙を流して聞き入っている方もいました。その後、安川雅史氏による「ネットトラブル、ネットいじめから子どもを守る ～最新事例とその対処法～」の演題で講演会が開催されました。社会問題でもあるネットトラブルやネットいじめから子どもたちを守っていくための示唆をいただき、「とても参考になった」「子どもたちを守っていきいたい」という感想がありました。



講演会で熱弁を振るう講師

## プランター作りで交流

## 笛吹市立石和東小学校・高等支援学校桃花台学園

11月10日、石和東小の6年生は近くの高等支援学校桃花台学園まで徒歩で移動し、環境メンテナンスコースの生徒たちとプランター作りによる交流授業を行いました。児童たちは、生徒たちが用意してくれていた色とりどりの花や観葉植物の苗を好きなだけ選び、思い思いのレイアウトで寄せ植えを楽しみました。児童たちは花の色や大きさを組み合わせる上で、寄せ植え時の注意点などを生徒たちに質問し、生徒たちはわかりやすくアドバイスするための工夫をするなど、和気あいあいと一緒に作業を進めることで交流が弾んでいました。これからプランターの美しい草花を見返すたびに、いつまでも花を大切に育てる優しい心とともに、今回の交流の思い出も一緒にあって、児童生徒の心の中に美しく咲き続けて欲しいと思います。



協力してプランターに寄せ  
植えを行う生徒と児童たち

## あいさつで地域への輪を広げていこう

## 笛吹市立一宮中学校・社会福祉協議会



笛吹市役所一宮支  
所に啓発用ポスターを貼る生徒会長

一宮中では昨年に引き続き、地域住民とのつながりを深めようとあいさつ啓発運動を展開しました。生徒会長・PTA会長・校長・教頭が事前に笛吹市役所一宮支所で行われた区長会に出席し、町全体で中学校発信のあいさつ運動に協調してもらえるよう呼びかけました。区長会のみなさんから、一宮町内全戸へのチラシ配布の快諾を受け、地域ぐるみの運動が実現されました。また、一宮町地域福祉推進委員会では「声かけ 支えあう町 いちのみや」を重点目標としており、11月25日～27日の朝には、一宮中の正門や昇降口で地域福祉推進委員の方や笛吹市社会福祉協議会の職員の方々が生徒と共にあいさつを交わし、地域への輪を広げていました。



自転車で登校する生徒と  
元気にあいさつを交わす  
代表生徒や地域の方たち

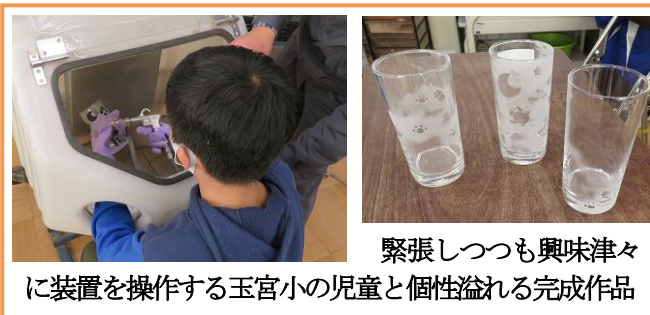
# 出前授業でサンドブラストとプログラミング

産業技術短期大学校

甲州市立玉宮小学校・松里小学校・笛吹市立一宮南小学校

12月3日、玉宮小において産業技術短期大学校・松田剛 准教授による『オリジナルグラスを作ろう!』と題した出前授業が行われ、6年生の親子7組が参加しました。無色透明なガラスの表面に模様となるシールを貼り、その上からサンドブラスト装置を使って砥粒(とりゅう)という細かな砂の粒を吹き付け表面を削った後、ゆっくりシールをはがすと周囲の曇りガラスに模様が浮かび上がる独特な風合いのグラスができていきます。親子たちは可愛い動物や草花、昆虫、海、天体など思い思いのコンセプトからシールを選び、完成後をイメージしながら慎重にレイアウトを工夫していました。できあがった作品は、親子活動の思い出とともに、割れないように紙で幾重にも包まれ大切に持ち帰られていきました。

松里小では12月8日、一宮南小では11日にそれぞれ産業技術短期大学校・安本岳志 准教授をお招きし、6年生を対象とした『プログラミング教室』を開催しました。プログラミング教育は理科の学習指導要領において、「身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には手順があることに気付くことなど」がねらいとされ、教科書にも掲載されています。当日はScratchライクな環境開発を使い「動き」「制御」などの命令を組み合わせ、暗くなったら自動で赤・緑・青のLEDが交互に点滅するプログラムを作成しました。児童たちは、普段の授業ではできない高度な学習内容に興味気味に取り組みながら、近くの仲間と教え合いながら、失敗から発展して別の新しい動きを作り出すなど、それぞれが工夫する活動的な姿が見られました。



緊張しつつも興味津々に装置を操作する玉宮小の児童と個性溢れる完成作品



松里小での様子

一宮南小での様子

## 山梨県公民館活動研究推進大会

12月2日、市川三郷町生涯学習センターにおいて標記大会が行われ、笛吹市生涯学習課が「笛吹市の公民館体制と課題」と題して事例発表を行いました。笛吹市には合併前の市町村を母体とする6つの公民館に5人のコーディネーターが配置され、それぞれの指定管理者による自主事業以外にも、笛吹市民講座、スコレー大学、地域講座など様々な年齢層の市民に合わせた講座が企画・運営される仕組みが紹介されました。会場の方々は笛吹市の発表を自分たちの公民館活動の参考にすべく、熱心に耳を傾けていました。

## 笛吹市生涯学習課



発表を聴く公民館関係者

## 桔露柿づくり体験

甲州市松里地区・井尻地区は全国に知られた「桔露柿」の名産地です。小学校では桔露柿づくり体験と同時に調べ学習も行っており、桔露柿に対する知識を深め、また中学校では地元農家のもとで、収穫から柿剥きまでを体験します。地域内で桔露柿づくりに携わっている方々は

## 甲州市立井尻小学校・松里小学校・松里中学校

もちろん、塩山ブロックの営農指導員の皆さんや多くの方の協力のもと、地域一体となって、この誇るべき郷土の歴史と文化を世代間で踏襲するために取り組む様子が見られました。



柿を剥く井尻小の児童と、集会での発表の様子



柿を干す松里小の児童たち



職業体験で一日中大量の柿を処理する松里中の生徒たち

## 親子で陶芸・木工教室

甲州市立神金小学校



慎重な手つきで陶芸に挑戦する6年生の親子たち

神金小では「甲斐の国 大和自然学校」の皆さんを講師に迎え、6年生の親子が10月に卒業制作として陶芸教室を、また11月には全校生徒の親子活動で木工教室を行いました。陶芸教室では、粘土が含むわずかな水分の乾燥の度合いが作品に与える影響に注意しながら、親子で協力し合い丁寧に仕上げていました。木工教室では、これまでの児童の絵画や書写の作品なども展示された体育館の中いっばいに、密にならないよう家族ごとに拡がってピクニックシートを敷いて行われました。どちらの活動も、参加した親子たちから「楽しい、あらためてこのような機会があることに感謝したい」といった感想が聞かれました。秋晴れの日差しだけでなく、心まで暖かな気持ちになれました。



木の枝で鹿などの置物を作る親子たち

## 小中合同芸術鑑賞会

甲州市立塩山北中学校・大藤・神金・玉宮小学校

塩山北中では同学区にある3つの小学校の5、6年生を招待し、合同で芸術鑑賞会を行っています。現在の中学1年生が3年生になったときには、この3つの学年が塩山北中の生徒になります。それぞれの学校に兄弟姉妹が在学している家庭も多く、日頃から小中一体となった繋がりを感じられる地域の取り組みのひとつです。今年には演劇を楽しみましたが、合唱に力を入れている塩山北中の生徒らしく、3年生全員が劇中にサプライズ登場し、ミュージカル役者さながらの歌声を披露しました。観劇した児童たちからは「中学生はすごい、憧れる」といった賞賛の声が聞かれ、数年後には自分たちも舞台の上の人になるであろうことを想像していた一日となりました。



地域の小5～中3年生が一同に



演劇に飛び入り出場し、美しい歌声を披露する中学3年生

## 手話を使ってオンライン交流

県立ろう学校・笛吹市立春日居中学校

12月16日に、ろう学校中学部と春日居中学校の福祉交流委員会の生徒がオンラインで交流を深めました。両校は毎年、交流校としてお互いに学園祭や運動会、強歩大会などで交流・親睦を深めてきましたが、新型コロナ



手話でろう学校の生徒に語りかける春日居中の生徒たち

ウイルス感染拡大防止のため、今年はさまざまな行事が中止になってしまいました。そのため今回はオンラインによる交流を企画しました。

両校の生徒、約40人が、手話で好きな楽器、好きなスポーツ、将来の夢、

行きたい国などについて一人ひとりが画面を通して発表し合い、とても楽しい時間を過ごしました。得意な絵

を画面越しに見てもらったろう学校の生徒は、春日居中の生徒が拍手する様子を見て自然と笑顔になりました。春日居中の生徒は「手話はまだまだ・・・」と言っていました。しっかりと練習されており、生徒たちがお互いに分かり合おうとする気持ちが十分伝わってきました。



春日居中の生徒の感想を聞こう学校の生徒たち

ろう学校の生徒は「直接会えないのはさみしいけれど、交流会はすごく楽しかった。」と感想を述べ、春日居中の生徒は「貴重な交流の機会は楽しかった。」と、オンラインでの交流を喜んでいました。時間は25分程度と短い時間ではありましたが、有意義な交流を行うことができました。今後も両校の絆を深めつつ、来年はまた直接会えることを期待してオンライン交流を終了しました。

## Réaliser-夢を叶える-

甲州市生涯学習課・大和中学校

12月16日、甲州市は夢プロジェクト「Réaliser-レアリゼ」と題し、大和中出身で現在ラグビートップイーストリーグで活躍する「クリーンファイターズ山梨」の主将、佐藤一樹選手による母校凱旋授業を企画・実施しました。「レアリゼ」とはフランス語で「夢を叶える」の意です。佐藤選手はチームメイトであるネイト・イゲル選手（米国出身）とともにラグビーの魅力や、中学時代から現在に至る経歴を紹介しつつ、夢を持つことの大切さや夢に近づく為にやってきたことなどについて熱く語りました。

夢を実現させるためには「心の支えとなる言葉」が必要で、佐藤

選手の場合は大和中時代の恩師からもらった「Never to late（遅すぎることはない）」という言葉が今でも原動力

になっているそうです。また「夢とは将来のなりたい自分像。だから夢を持つ、ということが大切。大き過ぎなくてよい。」「夢は実体のないもの。だからこそ実現させないといけなくない。」など、たくさんの熱いメッセージが送られました。生徒たちは同じ故郷で育った偉大な先輩の言葉や行動に感銘し、憧れを抱きつつも、この町から羽ばたく将来の自分像を重ねていたものと思います。

記念撮影に収まる大和中の1,2年生と両選手



大和中時代の思い出を語る佐藤選手

自由に質問したり、自分の夢を語る生徒

「Never to late（遅すぎることはない）」という言葉が今でも原動力になっているそうです。また「夢とは将来のなりたい自分像。だから夢を持つ、ということが大切。大き過ぎなくてよい。」「夢は実体のないもの。だからこそ実現させないといけなくない。」など、たくさんの熱いメッセージが送られました。生徒たちは同じ故郷で育った偉大な先輩の言葉や行動に感銘し、憧れを抱きつつも、この町から羽ばたく将来の自分像を重ねていたものと思います。

## 「俳句の里」全国小中学生俳句会表彰

笛吹市・俳句会実行委員会

笛吹市を代表する郷土の俳人「飯田 龍太」氏の生誕100周年でもある今年、第24回を迎える「俳句の里」山梨県笛吹市全国小学生・中学生俳句会の表彰式が、いちのみや桃の里ふれあい文化館で行われました。今年はコロナ禍にもかかわらず、海外からの応募も含めて全国42都道府県511校の小中学校から33,748点もの応募がありました。その中でも「山梨県知事賞」に御坂中の尾崎李奈さん、「県議会議長賞」に境川小の仲村心結さん、「県立文学館長賞」に一宮西小の末木結佳子さん、「笛吹市教育長賞」に一宮南小の雨宮福歩さんら、峡東管内からも、その他多くの入賞者が生まれました。いずれも子どもたちの目線から季節ごとの豊かな自然や、何気ない日々の情景を美しく捉えた爽やかな作品ばかりでした。応募した児童生徒にとっても、俳句作りがあらためて身の回りや地域の魅力を探し出す機会となり、心豊かな感受性が養われ、成長できたものと思います。



山梨県知事代理である峡東教育事務所・坂野副所長から表彰を受ける御坂中の尾崎さん

## 峡東教育事務所からのお知らせ

- ※ 異校種間授業交流の実施状況中間調査へご協力をいただき、誠にありがとうございました。3月末に最終調査を行いますので、引き続きご協力をお願いいたします。
- ※ エリアウェブに取り上げてもらいたいことを募集しています。コロナ禍ではありますが、地域教育の取り組みや共有したい情報、教育事務所への要望等がありましたら、随時ご連絡ください。

### カラー版をご覧ください

『エリアウェブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開いて下さい。是非ご覧ください。



エリアウェブ  
ホームページ

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>

### ご意見をお寄せください

◎『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙右上の連絡先にご連絡下さい。



E-mail アドレス

[kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp)

お問い合わせ